平成29（2017）年度以前入学者用

公認心理師　科目単位修得・履修状況報告書

［公認心理師法施行規則附則第３条に規定する科目］

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| Ⅰ | 大学における必要な科目 | | 単位修得 | 履修中 | 対応する出身大学の開講科目 |
| イ | 心理学概論 |  |  |  |
| ロ | 臨床心理学概論 |  |  |  |
| ハ | 心理学研究法 |  |  |  |
| ニ | 心理学統計法 |  |  |  |
| ホ | 心理学実験 |  |  |  |
| 上記Ⅰの５科目のうち，修得したおよび履修中の科目数 | | 科目 | 科目 | 左記Ⅰの5科目のうち３科目以上 |
| Ⅱ | 大学における必要な科目 | | 単位修得 | 履修中 | 対応する出身大学の開講科目 |
| イ | 知覚・認知心理学 |  |  |  |
| ロ | 学習・言語心理学 |  |  |  |
| ハ | 感情・人格心理学 |  |  |  |
| ニ | 神経・生理心理学 |  |  |  |
| ホ | 社会・集団・家族心理学 |  |  |  |
| ヘ | 発達心理学 |  |  |  |
| ト | 障害者・障害児心理学 |  |  |  |
| 上記Ⅱの７科目のうち，修得したおよび履修中の科目数 | | 科目 | 科目 | 左記Ⅱの7科目のうち４科目以上 |
| Ⅲ | 大学における必要な科目 | | 単位修得 | 履修中 | 対応する出身大学の開講科目 |
| イ | 心理的アセスメント |  |  |  |
| ロ | 心理学的支援法 |  |  |  |
| ハ | 心理演習 |  |  |  |
| ニ | 心理実習 |  |  |  |
| 上記Ⅲの４科目のうち，修得したおよび履修中の科目数 | | 科目 | 科目 | 左記Ⅲの4科目のうち２科目以上，ハについては施設の分野及び時間数は問わない |
| Ⅳ | 大学における必要な科目 | | 単位修得 | 履修中 | 対応する出身大学の開講科目 |
| イ | 健康・医療心理学 |  |  |  |
| ロ | 福祉心理学 |  |  |  |
| ハ | 教育・学校心理学 |  |  |  |
| ニ | 司法・犯罪心理学 |  |  |  |
| ホ | 産業・組織心理学 |  |  |  |
| 上記Ⅳの５科目のうち，修得したおよび履修中の科目数 | | 科目 | 科目 | 左記Ⅳの5科目のうち２科目以上 |
| Ⅴ | 大学における必要な科目 | | 単位修得 | 履修中 | 対応する出身大学の開講科目 |
| イ | 健康・医療心理学 |  |  |  |
| ロ | 人体の構造と機能及び疾病 |  |  |  |
| ハ | 精神疾患とその治療 |  |  |  |
| 上記Ⅴの３科目のうち，修得したおよび履修中の科目数 | | 科目 | 科目 | 左記Ⅴの３科目のうち１科目以上。ただしⅣのイを履修した場合は、Ⅴのロ、ハから。そうでなければイ、ロ、ハから。 |

氏名

（注）１　一つの必要な科目に対応しているとした開講科目を、他の必要な科目に対応する科目として記入することはできま

　　　　　せん。

　　 ２　この報告書は，受験生自身が作成してください。

　　　３　本報告書を手書きする場合は，必ずボールペンまたは万年筆を利用してください（消せるボールペンは使用しない

　　　　　でください）。

　　 ４　この報告書は公認心理師国家試験の受験資格を保証するものではありません。受験申込の際には、卒業した大学が

　　　　　発行する書類の提出が必要になります。